

【内灘町】
校務 DX 計画

1. ペーパーレス化の推進

令和 5 年度より保護者連絡ツール（クラウドツール）を導入し、学校から保護者への資料配布は電子媒体に移行するなど、学校と保護者間の連絡手段はペーパーレス化が進んでいる。

また、学校の職員会議では、これまで紙媒体で共有していた会議資料を、共有ファイルに保存したデータを画面で共有する等、会議の場においてもペーパーレス化が進んでいる。

ただし、学校から教育委員会事務局への報告業務の一部で未だ FAX を利用している等、ペーパーレス化可能な業務が残っている。引き続き、可能なものはペーパーレスに移行し業務改善を図る。

2. 次世代の校務 DX に向けた学校ネットワーク更改の検討

「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議（令和 5 年 3 月）」における、「次世代の校務 DX の方向性」に関する提言を踏まえ、以下のとおりネットワーク更改を検討する。

・校務系及び学習系ネットワークの統合

現状はネットワークが分離されており、各種データの連携が容易にできない状況である。ネットワークの統合により、校務におけるデータの利活用促進が期待される。

・校務用端末のロケーションフリー化

現状、校務系のネットワークは閉域網による運用であり、職員室のみでしか利用できない。アクセス制御を前提としたネットワークのクラウド化により、ロケーションフリーで校務用端末が利用できるようになり、教職員のニーズに合わせた多様な働き方の推進に寄与することが期待される。

3. 教育情報セキュリティポリシーの策定

令和 7 年 2 月現在、教育委員会独自で教育情報セキュリティポリシーは策定しておらず、自治体ポリシーを準用している。

文部科学省が策定した「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（令和 6 年 1 月）」に基づき、「内灘町教育情報セキュリティポリシー」を策定作業中である。

策定後は、運用状況や国の方向性を踏まえて随時改訂を行う。